

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 休眠が惹起する低代謝適応のメカニズムの解明とヒト組織への実装化
2. 研究代表者： 砂川 玄志郎（理化学研究所 生命機能科学研究センター チームリーダー）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、哺乳類の休眠中の低代謝適応機構の分子基盤を明らかにし、ヒト iPS 細胞由来組織への実装に着手することで、低代謝機構の臨床応用への道筋をつけることを目的としている。

フェーズ1では、QIH マウスモデルを用いた網羅的遺伝子解析と遺伝子改変マウスを用いた関連因子の探索、QIH の腎虚血時の病態の進行抑制について検証を行った。QIH 中で発現が上昇する 29 遺伝子を抽出してそのノックアウトマウスを作製するなど精力的に取り組み、時間がかかる研究にも関わらず、丁寧に計画し進捗している。フェーズ2の研究計画では、低代謝適応の基本原理の解明と疾患や老化のコントロール等、応用研究における成果を期待する。

以上